

子平廿一 70

明治十九年十二月刊行

明治十九
年七月中

埼玉縣達類輯

全

入間高麗郡役所第一課

持 51
872

C2
1113
34-03

凡 例

一本書ハ埼玉縣達全書ノ發刊ヨリ縣報發行マテノ間即チ明治十九年七
月中ノ令達ヲ編纂ス
一編纂ノ体裁ハ埼玉縣達全書ノ例ニ據ル

明治十九年十二月一日

編 者 識

明治十九年七月 埼玉縣達類輯索引

○第一章 職制

○第一款 郡役所戸長役場法規

七月三日乙第九十二号 九

○改正郡長委任條件 七月五日乙第九十四号 一〇

○第二款 郡町村吏心得

七月五日乙第九十五号 一三

○第二章 達式

○第一款 諸達

七月廿七日告第卅七号 一五

○縣報發行期日 八月二日告第卅九号 一七

○縣報材料報道ノ件 七月廿九日丁第百卅号 一七

○第三章 戸口

○第一款 行旅死亡人及病人

恤救規則ニ該當スヘキモノ取扱方ノ件 七月十六日乙第百三三号 一九

○第四章 兵事

○第一款 徵兵

○十九年乙第六十九号全七十号達追加ノ件 七月七日乙第九十六号 二〇

○第二款 徵發

○徵發物件調査方梗概書 七月七日乙第九十七号 二〇

○十七年一月丁第八号達廢止 七月九日丁第百廿七号 二六

○第五章 衛生

○第一款 公衆衛生

- 虎列拉病者隔離法心得 七月七日乙第九十八号 二七
- 虎列拉病流行ニ付横濱港へ往復ノ件 七月十六日乙第百二号 二九
- 檢疫事務章程 七月十六日乙第百四号 三〇
- 停車場檢疫事務章程 七月十六日乙第百五号 三一
- 十九年乙第百五号達改正ノ件 七月廿九日乙第百七号 三三
- 檢疫本部設置ノ件 七月十六日告第卅四号 三三
- 檢疫所設置ノ件 七月十六日告第卅五号 三三
- 横濱港へ往復ノ者心得方ノ件 七月十六日無号 三五
- 諸祭禮ニ付注意ノ件 七月十九日無号 三六

○第二款 雜件

- 虎列拉病患者數揭示ノ件 七月八日乙第九十九号 三七
- 檢疫委員具申ノ件 七月十五日丁第百廿八号 三七
- 檢疫掛具申ノ件 七月廿二日無号 三八

○第六章 教育

- 第一款 學區及學校
- 學齡兒童就學規則 七月十四日甲第百五号 三九
- 學齡兒童就學規則取扱心得 七月十四日乙第百号 四一
- 第七章 會議
- 第一款 縣會
- 縣會議員退任補欠人名 七月十七日告第卅三号 四四

○第八章 地理

○第一款 地籍

○舊道舊川敷無代價下渡シノ件 七月三日乙第九十三号 四五

○第九章 土木

○第一款 水利土功

○水利土功規則中改正 七月十七日甲第六号 四六

○第二款 雜件

○隄塘植芝雜草刈採リノ件 七月廿二日乙第六号 五〇

○第十章 勸業

○第一款 獸醫及牛馬

○傳染病獸取扱規則 七月三十日甲第七号 五一

○傳染馬病豫防線設置ノ件 七月卅一日甲第八号 五三

○炭疽熱流行ニ付注意ノ件 七月廿六日無号 五五

○傳染獸病豫防心得 七月廿九日無号 五七

○第二款 雜件

○繭驗枳取締規則中追加ノ件 七月一日甲第四号 五八

○田圃害蟲豫防ノ件 七月十四日無号 五八

○第十一章 雜件

○第一款 出板

○被惚秘法出板發賣禁止ノ件 七月十四日乙第一百号 六〇

○第二款 雜件

○縣廳郡役所並戸長役場出頭退廳時間 七月八日告第卅号 六二

○各裁判所出頭退廳時間 七月九日告第卅一号 六二

○第二期浦和重罪裁判所閉廳ノ件

七月十四日告第卅二号 六三

○縣知事 叙任

七月廿一日告第卅六号 六三

○川越治安裁判所安藤判事赴任ノ件

七月三十日告第卅八号 六四

明治十九年七月 埼玉縣達類輯

○第一章 職制

○第一款 郡役所戸長役場法規

○乙第九十二号 明治十九年七月三日

郡役所
戸長役場

戸別等級規程左ノ通相定ム

第一條 戸別ノ等級ハ戸長役場區域限毎戸ノ貧富ニ應シテ其標準ヲ

設ケ差等ヲ五十等ニ定ムヘシ

第二條 戸別調査ノ法ハ變竈ヲ有スル者ハ本籍寄留ヲ問ハス總テ一

戸ト爲スヘシ

第三條 戸別ノ等級ハ町村會又ハ聯合町村會ノ評決ヲ取り縣廳ニ開

申スヘシ但更訂ヲ要スルトキ亦同シ

第四條 戶長役場ニ於テ戸別等級名簿ヲ調製シ年々其等級ニ依リ地方稅戸數割及町村費戸別割ノ乘率ヲ設ケ賦課スヘシ
右相達候事

○乙第九十四号 明治十九年七月五日

郡役所
戶長役場

明治十七年九月本縣乙第百十七号達郡長委任條件左ノ通改正ス此旨相達候事

郡長へ委任ノ條件

明治十九年九月十日付縣令甲第十号ヲ以テ郡長ヲ分任條件被テ消滅ス

第一 郡書記事務分掌ノ事

第二 郡備並町村立學校補助員進退ノ事

第三 郡書記戸長並町村立學校長教員父母病氣看護販省養痾及除服ノ事

事

第四 神社臨時祭及佛閣開扉ノ事

第五 縣社以下社殿寺院堂宇修繕及破損處分ノ事

第六 民有社寺境内外共有墓地伐木ノ事

第七 棄子及三子養育ノ事

第八 例規アル戸婚諸願ノ事

第九 氏子換ノ事

第十 疫牛處分ノ事

第十壹 度量衡檢印ノ事

第十貳 船車檢印及讓渡ノ事

第十參 災害ノ爲メ換道及假橋渡船設置ノ事

第拾四 洪水ノ爲メ渡船賃請求願ノ事

第拾五 社寺境内貸渡季明再願ノ事

第拾六 諸興行ノ爲メ一時官有地貸渡ノ事

第拾七 官有地ノ借地ニ建設セル建物書入質又ハ賣買讓渡ノ節貸地タ

ル丁ヲ証スル奥書ノ事

第拾八 電信柱敷地ヲ調査シ及其手當金ヲ下渡ス事

第拾九 水火災ニ罹リ家屋蕩盡スル者租稅皆濟期限后二ヶ月以内延期

ノ事

第貳拾 營業願ノ事

但酒類製造醬麴製造醬油製造及取締ニ關スル營業ハ此限ニアラス

第廿一 印紙類賣捌看板ヲ付與スル事

第廿二 印紙類代金延納願ノ事

第廿三 町村立學校臨時休業ノ事

第廿四 針灸治開廢業ノ事

第廿五 藥用阿片拂下ノ事

第廿六 水防水配ノ事

第廿七 並木植繼ノ事

第廿八 急水防禦ノ爲メ三等官林伐採ノ事

第廿九 公債証書保護預リノ事

○第二款 郡町村吏心得

○乙第九十五号 明治十九年七月五日

郡 役 所
長 役 場

本月十一日ヨリ九月十日マテ諸官員暑中休暇ヲ賜リ候條明治七年七月第八十四号公達ノ通相心得休暇スヘシ此旨相達候事

○第二章 達式

○第一款 諸達

○告第三拾七号 明治十九年七月廿七日
本縣ニ於テ縣報ヲ發行ス其例規左ノ通
但發行期日ハ更ニ告示スヘシ

縣報例規

第一條

縣報ハ一週間二回火曜日 金曜日發行ス但時宜ニヨリ一回ニ止メ或ハ號外ヲ發行スルコトアルヘシ

第二條

縣報ニ登載スル事項左ノ如シ

- 一 縣令 訓令
- 一 告示 諭達
- 一 郡役所告示
- 一 伺指令
- 一 縣廳事項
- 一 農工商兵事教育衛生監獄警察事項
- 一 雜事

一 廣告

第三條

縣報ハ各部課郡役所警察署警察分署戸長役場ニ各一部ヲ配布ス

第四條

縣報ハ第三條ニヨリ配布スルノ外郡役所戸長役場ニ於テ増部ヲ要スルトキハ其部數ヲ定メ購求ノ事ヲ申出ヘシ

第五條

縣報ハ印刷所ヲシテ發賣セシム

右告示候事

○告第三拾九号 明治十九年八月二日

縣報ハ八月三日ヨリ發行ス

右告示候事

○丁第三百三拾號 明治十九年七月廿九日

郡役所

十九年九月
月告第十
九号ヲ以
テ削除ス

今般縣報ヲ發行シ郡役所告示及郡長管内外出張巡回販着並其公用件名
ヲ登載候答ニ付右其都度無遲滯報道スヘシ此旨相達候事

○第三章 戸口

○第一款 行旅死亡人及病人

○乙第百三號 明治十九年七月十六日

郡役所
戸長役場

管下人民行旅中死亡シ又ハ重病ニ罹リタル際其携帯セル幼年者等彼地
戸長ノ救護ヲ受ケン者獨身又ハ家族アルモ老幼等ニテ他ニ養育スヘキ
者ナク家元赤貧難引取親戚等ニ於テモ扶助スルモノナクシテ明治七年
第百六拾二号公達恤救規則ニ該當スヘキモノハ引取ヲ要セス身元取調
書及戸籍寫等相添事情詳細ヲ盡シ救護地戸長へ通報スヘシ又他管下人
民ヲ救護シタル場合ニ於テ本籍戸長ヨリ全様ノ通報アリタルトキ規則
該當ノ者ト認ムル上ハ關係書類相添救護初日ニ遡リ救助方當廳へ申請
スヘシ此旨相達候事

○第四章 兵事

○第一款 徵兵

○乙第九拾六号 明治十九年七月七日

郡役所
戸長役場

本年^五月本縣乙第六拾九号同七拾号達中軍籍ニ在ル者ノ下へ（及ヒ補充員第一豫備徵員ニシテ）ノ拾四字ヲ追加ス
右相達候事

○第二款 徵發

○乙第九拾七号 明治十九年七月七日

郡役所
戸長役場

本年^六月本縣乙第七拾八号ヲ以テ徵發物件表調製差出方ノ義相達候ニ付
テハ別紙梗概書ニ據リ精密調理可致此旨相達候事

徵發物件調査方梗概

第三号

一 徵發物件表

徵發物件ニシテ表式中之レカ區畫ヲ設ケサル者即チ徵發令第拾二條第九項同第拾三條第一項第三項等ノ種類ハ各徵發區ニ於テ之レヲ調査シ置クヘキ者ナレハ本表中ニ掲載スルニ及ハサルモノトス
一本表ハ美濃紙ヲ用ヒ一郡區毎ニ調製スヘキモノトス

第四畫 戸數

每町村民家ノ總數ヲ合算シ其家屋ノ全部又ハ幾部ヲ以テ官署
郵便局
電信分局警察署郡區役所
戸長役場ノ類
若クハ學校ニ使用スルモノモ本畫ニ算入スヘキ
モノトス

第五畫 各戸坪數

民家ノ總坪數ヲ記入ス若シ其家屋ノ全部又ハ幾部ヲ官署若クハ學校ニ使用スル者モ亦算入スヘキモノトス

第八畫第九畫 貸庫貸厩

本畫ハ貸庫ノ外自家ノ使用ニ供スルモノタリトモ暫ク空虛トナシ貸用スルモ支障ナキモノ又貸厩ノ外營業上他人ノ牛馬ヲ繫泊セシムルモノモ亦算入ス但貸庫貸厩共箇數ノミヲ記入スヘキモノトス

第十畫 官廨

官廨ハ諸官省院廳府縣廳及ヒ郡區役所戸長役場浦役場警察署裁判所郵便局電信局等ノ類ニシテ民家及ヒ寺院ヲ使用スル者モ皆算入スヘキモノトス

第十一畫 寺院

本畫ハ内陣ヲ除キ其數寺院中幾軒數アルモ之レヲ分別セスヲ合算記入ス若シ其寺院ノ全部若クハ幾部ヲ以テ官署又ハ學校ト爲ス者モ本畫ニ記入スヘキモノトス

第十二畫 學校

學校内幾軒數アルモ其數ヲ合算記入スヘキモノトス

第十三畫 水車場

本畫ハ水車及蒸氣精米器械ノ別ナク一日一石以上ヲ搗春スル箇數ヲ記入スルモノトス

第十四畫 病院

本畫ハ箇數ノミヲ記入スルモノトス

職工畫

本畫ハ他ノ職工ヲ混入スヘカラス其順序ニ隨ヒ記入スヘキモノト
ス

第三号ノ二

第二畫 何驛

本畫ハ從前宿驛ノ唱呼アルニ拘ラス現今驛傳取締設置ノ場所ヲ記
入スヘキモノトス

同 何港

本畫ハ船舶輻湊通商繁盛ナル管内著明ノ場所ヲ記入スヘキモノト
ス

同 何市街

本畫ハ單ニ何々ト稱スル管内著明ナル地ニシテ且現今驛傳取締設
置ノ場所ヲ記入スヘキモノトス

同 何町

本畫ハ一部落ヲナシテ何町ト名稱シ且現今驛傳取締設置ノ場所ヲ
記入スヘキモノニシテ前項市街中ノ一町名ヲ別舉スルノ謂ニアラ
ス

右ノ外管内著名ノ場所ト雖モ驛傳取締設置ナキ地ハ總テ(其他ノ村落)
ノ畫ニ記入スヘキモノトス

第三第四第五第六第七第八第九畫 牛馬

本畫中乘馬馬車馬ハ主トシテ使用ニ適スルモノヲ記入スヘキモノ
トス其乘馱相半スルモノハ飼主ノ指定ニ任ヌ耕馬モ亦之ニ準ス但

乘馬本分ノ馬匹及種馬種牛ハ控除ス
第拾第壹第拾貳第拾參第拾四畫 車輛
本畫ハ其惣數ヲ記入スヘキモノトス

○丁第百廿七号 明治十九年七月九日 郡役所

今般乙第九拾七号ヲ以テ徵發物件表調査方梗概書相達候ニ付テハ去ル
十七年一月丁第八号達ハ廢止候條此旨相達候事

○第五章 衛生

○第一款 公衆衛生

○乙第九拾八号 明治十九年七月七日

郡役所
戸長役場

虎列拉病者發生シタルトキハ避病院ニ移シ隔離スヘシト雖自宅治療ヲ
許サ、ルヲ得サル場合ニ於テハ左ノ心得書ニヨリ可取扱此旨相達候事
虎列拉病者隔離法心得

一虎列拉病者發生シタルトキハ豫テ設置シアル避病院ニ移スヘシ然レ
モ自宅治療ヲ許サ、ルヲ得サル場合アルトキハ左ノ標準ニ依リ該家ニ
於テ隔離法ヲ實行シ得ラル、ヤ否ヲ檢定シ差間ナキモノト認ムルトキ
ハ之ヲ許可スルモ妨ゲナシ

第一項 村落ニアル一戸建ノ家屋ニシテ其構内ニ別棟アルカ若クハ間

數々多アリテ患者ノ居室ト家族ノ分居スヘキ室トノ間ニ空室アリ且其障壁モ完全ニシテ充分隔離シ得ラル、モノ

第二項 家屋狹隘ト雖モ一戸建ノ家屋ニシテ家族ノ者ヲ他ニ避退シ得ラル、モノ

第三項 長家住居ト雖其家族及兩隣家ノ者ヲ他ニ避退シ得ラル、モノ

第四項 連擔櫛比ノ地ニアル家屋ト雖一戸建ニシテ間口凡ソ五間奥行凡拾間以上ニシテ第一項后段ノ如ク隔離シ得ラル、カ若クハ之ニ準

スル能ハサルモ兩隣家ノ者ヲ他ニ避退シ得ラル、モノ

第五項 患者ヲ避病院ニ移スト自宅治療ヲ許ストヲ間ハス同居シタル者ハ之ヲ隔離セシムル際相當ノ消毒法ヲ行ヒ其日ヨリ起算シ五日間他人ト交通ヲ絶テ其期中異狀ナキトキハ交通ヲ許スヘシ但患者死

亡シタルトキハ出棺シタル日ヨリ同居者ノ交通ヲ絶ツト亦同シ

第六項 患者治癒ノ后始メテ他人ト交通ヲ許シ又ハ避病院ヨリ退出セシムル際ハ必ス沐浴セシメ石鹼水ヲ用ヒ全身ヲ洗ヒ他ノ衣服若クハ消毒シタル衣服ヲ着カヘ然ル后始メテ交通ヲ許スヘシ但看護人ノ他人ト接スルトキモ亦同シ

第七項 家族ノ看護ヲ乞フ者ハ素ヨリ許スヘシト雖可成一人若クハ二人ニ止メ時々交代セサル様注意スヘシ

第八項 患者ノ居室及隔離者其他排泄物等ノ消毒方法ハ傳染病豫防心得書並ニ虎列拉病豫防消毒心得書ヲ參互シ嚴重ニ施行スヘシ

○乙第百貳號 明治十九年七月十六日

郡役所
長 役 場

神奈川縣下橫濱港虎列刺病追々蔓延ノ勢ニ付同地ヨリ來ル者ニハ充分注意可致旨衛生局長ヨリ電報ノ趣モ有之本月十六日付ヲ以テ諭達及置候ニ就テハ戸長役場部内ニ於テ商用其他ノ用向等ニテ平素橫濱港へ往復スル者ハ豫メ取調此際成ルヘク同港へノ往復ヲ止メ書狀ニテ用便シ若シ同港ヨリ來リタル者有之節ハ其役場ニ届出候様懇諭シ一層本病發生之豫防ニ注意可致此旨相達候事

○乙第四百四號 明治十九年七月十六日

郡役所
戸長役場

檢疫事務章程左ノ通相定ム此旨相達候事

檢疫事務章程

第一條 檢疫事務施行ノ爲メ縣廳ニ檢疫本部ヲ置キ長一人副長二人ト

明治十九年八月
令丙第四號
改正以テ

ス但檢疫支部ヲ置クトキハ檢疫委員ヲ以テ支部長ニ充ツ

第二條 檢疫委員ハ本部長若クハ支部長ノ指揮ヲ受ケ傳染病豫防規則及傳染病豫防心得書並ニ虎列刺病豫防消毒心得書ニ依リ虎列刺病豫防ノ事務ヲ指揮監督スヘシ

第三條 檢疫掛ハ檢疫委員ノ指揮ニ從ヒ豫防事務ニ從事スヘシ

第四條 檢疫委員ハ醫師ヲ指揮シテ虎列刺病者ヲ治療セシメ且其勤惰ヲ監督スヘシ

○乙第四百五號 明治十九年七月十六日

郡役所
戸長役場
(鐵道停車場ナキ郡役所警察署ハ之ヲ除ク)

停車場檢疫事務章程左ノ通相定ム此旨相達候事

但浦和大宮鴻巣熊谷本庄ノ停車場ヲ除クノ外ハ郡書記檢疫醫ヲ欠ク

明治十九年七月
乙第四百七號
改正以テ

停車場檢疫事務章程

第一條 鐵道停車場接近ノ地ニ檢疫所及消毒所避病院ヲ置ク但郡長ニ於テ警察署長ト協議ノ上之ヲ設置スルモノトス

第二條 檢疫所ニハ左ノ職員ヲ置ク但時宜ニヨリ郡長又ハ警部出張スルコトアルヘシ

郡書記 一人

巡查 二人

檢疫醫 一人

第三條 氣車中ニ於テ發病セシモノアルトキハ直ニ避病院ニ送ルヘシ但同車セシ者ハ虎列拉病豫防心得書第八條第二項ニヨリテ處置スヘシ

○乙第七號 明治十九年七月廿九日

郡役所
戶長 役場

本年七月乙第七號達初項但書中上尾トアルヲ(大宮)ト改メ吹上トアルヲ(鴻巣)ト改ム
右相達候事

○告第三拾四號 明治十九年七月十六日

神奈川縣下橫濱ニ於テ虎列刺病追々蔓延ノ景況有之殊ニ當縣下ニ於テモ頃日來該病各所ニ發生候ニ付今般廳中ニ檢疫本部ヲ設置シ檢疫ニ關スル事務ヲ取扱ハシム

○告第三拾五號 明治十九年七月十六日

神奈川縣橫濱港ニ於テ虎列刺病益蔓延ノ兆候有之候ニ付管下左ノ箇所
へ檢疫所ヲ設ケ旅行人ヲ検査セシム

浦和停車場 大宮停車場 上尾停車場 桶川停車場

鴻巣停車場 吹上停車場 熊谷停車場 深谷停車場

本庄停車場 蓮田停車場 久喜停車場 栗橋停車場

北足立郡 北足立郡 北足立郡 新座郡

瀬崎村 川口町 下戸田村 白子村

入間郡 中葛飾郡 北葛飾郡 北葛飾郡

所澤町 中嶋村 丹後村 西寶珠花村

北葛飾郡

金杉村

明治十九年八月十九日
第五号ヲ
以テ追加

右告示候事

○無號 明治十九年七月十六日

神奈川縣下橫濱港虎列刺病追々蔓延ノ勢ニ付同地ヨリ來ル者ニハ充分
注意可致旨衛生局長ヨリ電報有之候處當縣下ニ於テモ去月來各地ニ該
病特發シ殊ニ頃日川口町鑄物職永瀬彦四郎ナル者橫濱港ニ罷越シ歸宅
後該病ヲ發シ即日死亡シ尋テ雇人豊吉ニ傳染シ是亦即日死亡候ニ付遮
斷消毒等嚴重執行セシヲ以テ一時病毒消滅セシカ幸ニシテ爾後感染者
無之然レモ何時他ニ發生候哉モ難計就テハ商用其他ノ用向ニテ平素同
港へ往復スル者ト雖成ルヘク郵便等ニテ用事ヲ足シ此際勉メテ同港へ
往復セサルハ勿論若シ同地ヨリ來リタル者アル片ハ相互ニ注意シ沐浴

更衣等相當ノ消毒法ヲ行ヒテ後交際候様可致此旨特ニ諭達候事

○無號 明治十九年七月十九日

炎暑之候ニ際シ天王祭或ハ夏祭リト唱へ衆人相群集シ神輿ヲ荷ヒ晝夜ヲ分タス其町村ヲ馳セ廻ハリ過度ノ運動ヲ爲シ身軀ノ疲勞スルニモ拘ラス過量ノ飲食ヲ爲ス等ノ弊習往々有之候處目下神奈川縣下横濱ニ於テハ虎列刺病追々蔓延ノ景况有之當縣下ノ如キモ各地ニ該病ノ點々特發スルアリ動スレハ其隙ニ乘シテ發生セントスルノ兆候有之候ニ付此際各自充分其攝生ニ注意シ飲食ヲ戒慎シテ其豫方ニ力ヲ盡スニアラサレハ何時慘毒ヲ逞フスルモ知ルヘカラサルノ時機ナルニ付右等祭禮ノ執行ハ可成此際延期可致此旨諭達候事

○第二款 雜件

○乙第九拾九號 明治十九年七月八日

郡役所
戶長役場

京都大阪兩府及兵庫其他二三ノ諸縣ハ勿論頃日神奈川縣下ニ於テモ虎列刺病發生候ニ付テハ其新舊患者及死亡ノ總數日日官報ニ掲載有之候ニ付各自豫防攝生等ノ注意ヲ喚起候爲メ該員數日々取調揭示場若クハ人民ノ見易キ場所ニ揭示スヘシ此旨相達候事

○丁第百廿八號 明治十九年七月十五日

郡役所

神奈川縣下横濱ニ於テ虎列刺病追々蔓延之景况有之殊ニ當縣下ニ於テモ頃日來該病各所ニ發生候ニ付今般廳中ニ檢疫本部設置候ニ就テハ郡書記中檢疫委員適任者姓名具申可致此旨相達候事

○無號 明治十九年七月廿二日

郡 役 所

檢疫掛ノ義ハ病勢ノ緩急ニ應シ必要ト認ムルトキハ適任者ニ之ヲ命シ其姓名ヲ具申致スヘシ此旨相達候事

○第六章 教育

○第一款 學區及學校

○甲第百五號 明治十九年七月十四日

本縣學齡兒童就學規則左ノ通相定ム

但明治十四年十月本縣甲第九拾七號布達ハ廢止ス

右布達候事

埼玉縣學齡兒童就學規則

第一條 兒童ノ翌年三月迄ニ學齡ニ入ルヘキ者アルトキハ父母后見人等ハ本人ノ氏名族籍生年月日及就學セシムヘキ小學校ヲ記載シ其年十二月迄ニ兒童現住地ノ戸長ニ届出ツヘシ

第二條 前條翌年三月迄ニ學齡ニ入ルヘキ兒童ニシテ就學セシムル不能

ハサル片ハ父母后見人等ハ本人ノ氏名族籍生年月及就學セシムル
能ハサル事由並其期限ヲ記載シ郡長ニ宛テタル猶豫ノ願書ヲ第一條
ノ期月迄ニ戸長ニ差出スヘシ

第三條 就學猶豫ノ許可ヲ得タル者ト雖其期限内ニ於テ就學セシムル
ヲ得ヘキ場合ニ至リタル片ハ父母后見人等ヨリ其就學セシムル
小學校ヲ記載シテ之ヲ戸長ニ届出ツヘシ

第四條 就學猶豫ノ許可ヲ得タル者ニシテ滿期ノ後直ニ就學セシムル
者ハ父母后見人等ヨリ其就學セシムルヘキ小學校ヲ記載シ之ヲ戸長ニ
届出ツヘク又直ニ就學セシムル可能ハサル者ハ第二條ノ手續ニ依リ
一ヶ月前更ニ猶豫ヲ願出ツヘシ

第五條 兒童就學ノ后未タ尋常小學校ヲ卒ラスシテ就學セシムル可能

ハサル場合アル片ハ父母后見人等ハ第二條ノ手續ニ依リ猶豫ヲ願出
ツヘシ

第六條 未タ尋常小學校ヲ卒ラサル學齡兒童ノ他ノ學區ニ轉住スルト
キハ父母后見人等ヨリ其旨ヲ兒童現住地ノ戸長ニ届出テ學齡送籍書
ヲ得テ之ヲ轉住地ノ戸長ニ届出ツヘシ

第七條 未タ尋常小學校ヲ卒ラサル學齡兒童ノ他ヨリ轉住シタルトキ
ハ父母后見人等ヨリ其就學セシムル者ハ第一條ニ就學セシムル可能
ハサル者ハ第二條ニ準シ届書又ハ願書ヲ差出スヘシ

○乙第百號 明治十九年七月十四日

郡 役 所
戸 長 役 場

本縣學齡兒童就學規則取扱心得左ノ通相定候條此旨相達候事

埼玉縣學齡兒童就學規則取扱心得

第一條 戸長役場ニ於テハ學齡兒童就學規則第一條ノ届書及同第二條ノ願書ニ就キ其氏名族籍生年月日並就學スヘキ者ハ其小學校ノ學齡簿ニ記入スヘシ其就學猶豫願ニ属スル者ハ篤ト事情ヲ審按シ當否ノ意見ヲ附シ之ヲ郡長ニ出シテ指示ヲ受クヘシ

但本文就學猶豫ノ許可ヲ得タル者ハ其期限ヲ學齡簿ニ記入スヘシ

第二條 就學猶豫相當ト認ムヘキ者凡ソ左ノ如シ

- 一 癩疾ノ者
- 一 身體ノ發育其度ニ適セサル者
- 一 疾病ニ罹リ速ニ治癒ノ目的ナキ者
- 一 兒童其力ニ因リテ生活スル者

一 一家貧窶ノ者

第三條 戸長役場ニ於テハ同規則第三條第四條第五條及第七條ノ届書又ハ願書ヲ受ケタルトキハ總テ第一條ニ準シテ取扱ヒ學齡簿訂正ノ手續ヲ爲スヘシ

第四條 戸長役場ニ於テハ同規則第六條ニ依リ學齡兒童ノ他ノ學區ニ轉住ヲ届出タルトキハ其就學ニ關スル事項ヲ詳記シタル學齡送籍書ヲ父母后見人等ニ下付シテ轉住地ノ戸長ニ送達スヘシ

第五條 前條ノ學齡送籍ヲ受ケタル戸長役場ニ於テハ之ヲ學齡簿ニ登記スヘシ

○第七章 會議

○第一款 縣會

○告第三拾三號 明治十九年七月十七日

縣會議員退任補缺別表之通

右告示候事

(別表)

退任者	補缺者
高麗郡撰舉 小林 拾三	高麗郡下大谷澤村 二拾九番地 大河原榮五郎
北葛飾郡撰舉 篠田 清嗣	北葛飾郡番匠免村 八拾九番地 堀切傳次郎
同 犬塚喜太郎	全郡本郷村 六拾番地 山口良之丞

○第八章 地理

○第一款 地籍

○乙第九拾三號 明治十九年七月三日

郡長役場所

舊道舊川敷無代價下渡ノ義ニ付明治十六年^{十二}月 本縣乙第百四拾二號ヲ以テ相達置候處自今官費地方費ヲ以テ道路河川ヲ變換スルニ際シ民有地ヲ上地シ代地トシテ其舊敷地ヲ請求スルモノモ差支ナキ場所ハ無代價下渡候條此旨相達候事

○第九章 土木

○第一款 水利土功

○甲第百六號 明治十九年七月十七日

本年三月本縣甲第三拾四号布達水利土功規則中左ノ如ク改正ス

第六條 道路及治水ニ属スル工費ノ地方税補助ノ歩合ハ別ニ之ヲ定ム
道路及治水ニ属スル工費ノ町村ニ於テ負擔スヘキモノハ金員又ハ現
品人夫ヲ出スヘシ

第拾貳條 縣道ノ道路橋梁ヲ修築スル工費ハ町村費ヲ以テ支弁シ地方
税ヨリ之ヲ補助スヘシ

第拾三條 國道ノ掃除丁場ニ係ル諸費縣道ノ前條ニ属セサルモノ及里

道ニ属スル總テノ工費ハ其組合ノ町村費ヲ以テ支弁スヘシ

第拾四條 里道ノ道路橋梁ニシテ公益ヲ起ス爲メ新築又ハ改良ヲ要ス
ルモノ若クハ非常ノ災害ニ罹リ臨時巨額ノ工費ヲ要シ組合ノ負擔ニ
堪ヘ難キモノハ地方税ヨリ補助スルヲアルヘシ

第拾六條 削除

第拾七條 堤防ヲ増築新築移築又ハ堤防ノ潰決ヲ臨時修繕若クハ急破
修覆スル土工ノ數拾町村ノ利害ニ關スルモノハ其工費ヲ地方税ヨリ
支弁シ小部分ニ關スルモノハ其組合若クハ地元町村ノ町村費ヲ以テ
支弁シ地方税ヨリ之ヲ補助スヘシ

第拾八條 堤防ノ保護ニ屬スルモノ
堤方ノ崩壞漏水川欠等ノ修覆杭出芝植繼及
又ハ隄上ノ平均直シ小部分ノ上置等ノ類
川除修築ノ工費ハ其組合又ハ地元町村ノ町村費ヲ以テ支弁シ地方

税ヨリ之ヲ補助スヘシ

第拾九條 畑園堤ノ第拾七條ニ係ル土功ノ工費ハ町村費ヲ以テ支弁シ
地方税ヨリ之ヲ補助シ小部分ニ關スルモノハ總テ其組合若クハ地元
町村ノ町村費ヲ以テ支弁スヘシ

第廿一條 削除

第廿五條 河川ノ浚渫工ハ數十町村ノ利害ニ關シ改良ニ屬スル工費ハ
總テ地方税ヨリ支弁シ改良ニ屬セサル工費ハ其組合ノ町村費ヲ以テ
支弁シ地方税ヨリ之ヲ補助シ小部分ニ關スルモノハ總テ其組合若ク
ハ地元町村ノ町村費ヲ以テ支弁スヘシ

第廿六條 用惡水ノ溝渠又ハ堰埭ノ土功ハ數十町村ノ利害ニ關シ改良
ニ屬スル工費ハ其組合ノ町村費ヲ以テ支弁シ地方税ヨリ之ヲ補助シ

改良ニ屬セサルモノ及小部分ニ關スルモノ又ハ溜池ハ總テ其組合若
クハ地元町村ノ町村費ヲ以テ支弁スヘシ

第廿七條 樋管ノ土功ハ數十町村ノ利害ニ關シ改良ニ屬スル工費ハ總
テ地方税ヨリ支弁シ堀埋伏換ニ關スルモノ及ヒ改良ニ屬セサルモノ
又ハ河川ノ本堤敷地内ニ在ルモノ、修繕工費ハ其組合ノ町村費ヲ以
テ支弁シ地方税ヨリ之ヲ補助シ小部分ニ關スルモノハ總テ其組合若
クハ地元町村ノ町村費ヲ以テ支弁スヘシ

第廿八條 隄防川除 數十町村ノ利害ニ關セサルモノ 又ハ溝渠堰埭溜池樋管ハ非常ノ災害
ニ罹リ臨時巨額ノ工費ヲ要シ組合若クハ地元町村ノ負擔ニ堪ヘ難キ
モノハ其工費ヲ地方税ヨリ補助スルコトアルヘシ

右布達候事

○第二款 雜件

○乙第百六號 明治十九年七月廿二日

郡役所
戸長役場

新築及移築増築ノ隄塘植芝ニ雜草繁茂スル片ハ芝ノ根張ヲ妨ケ自然隄防ノ薄弱ヲ醸スニヨリ右等ノ場所ハ工事落成後當分ノ内毎月一回ツ、其組合若クハ地元町村ニ於テ之ヲ刈採ラシムヘシ此旨相達候事

○第拾章 勸業

○第二款 獸醫及牛馬

○甲第百七號 明治十九年七月三十日

傳染病獸取扱規則左ノ通相定ム

傳染病獸取扱規則

一家畜獸類ノ傳染病ニ感セン徴候アラハ飼主及主治ノ獸醫ハ直ニ戸長役場警察署又ハ分署交番所或ハ巡行巡查エ届出ヘシ

但郡役所近傍ノモノハ直ニ郡役所ニ届出ヘシ

一傳染病ニ罹リ斃レタル獸類ハ斃馬捨場ニ於テ燒滅スルカ若シクハ高燥ノ土地ニ限リ同場ニ於テ一丈二尺以上ヲ掘下ケ埋没スヘシ

但埋没シタル地エハ傳染病死(牛)(馬)(羊)(豚)埋地ト大書シタル

明治十九年八月縣令甲第六号達ヲ以テ追加
明治十九年八月縣令甲第三号ヲ以テ追加

標札ヲ掲クヘシ

一斃獸室内ノ土ハ一尺餘ヲ鋤キ取り其斃獸ト共ニ燒滅又ハ埋没シ且室

中ニハ石炭酸又ハ石灰水ヲ灌クヘシ

一傳染病ニ罹リ斃レタル獸類ハ食用ハ勿論工料肥料等ニ供スヘカラス

一傳染病ニ罹リタル獸類アル町村ニテハ往來道端「(牛)(馬)(羊)(豚)

傳染病アリ」ト大書シタル標札ヲ掲ケ置ヘシ

右布達候事

○甲第百八號 明治十九年七月卅一日

縣下北葛飾郡南埼玉郡及北埼玉郡内ニ於テ馬病流行シ追々蔓延ノ景況

ニ付該病傳染防遏ノタメ左ノ郡村へ豫防線ヲ設ケ線内獸畜ノ出入ヲ禁

ス

傳染馬病豫防線地名

南埼玉郡鷲ノ宮村ヲ以テ有病地ノ凡中央トス

東

北葛飾郡栗橋驛ヨリ權現堂川ニ沿ヒ中葛飾郡中島村花嶋村細野村屏風
村椿村倉常村榎村立野村上柳村下柳村永沼村水角村北葛飾郡赤沼村大
川戸村南埼玉郡大杉村ヲ經テ葛西用水ニ沿ヒ同郡大澤町ニ至ル

南

南埼玉郡大澤町ヨリ大房村大林村大竹村大道村三宮村大森村新方塚村
大戸村大谷村大野嶋村長宮村南平野村南辻村上野村古ヶ場村笹山村黒
濱村城村南新宿村白岡村篠津村樋口村原村江面村所久喜村ヲ經テ六万
部村ニ至ル

西

南埼玉郡六万部村ヨリ北埼玉郡北辻村船越村下高柳村上高柳村加須町
上三ツ俣村戸川村三田ヶ谷村ヲ經テ大越村ニ至ル

北

北埼玉郡大越村ヨリ利根川ニ沿ヒ彌兵衛村新川通村中渡村ヲ經テ北葛
飾郡栗橋驛ニ至ル

右布達候事

○無號 明治十九年七月廿六日

左ノ郡村ニ於テ本月十七日ヨリ廿四日マテ八日間ニ炭疽熱ニ罹リ斃レ
シ馬拾七頭ノ多キニ至レリ該病ハ尤劇猛ニシテ他ノ健全ナル獸畜ニ傳
染スルノ速ヤカナルノミナラス一旦之レニ感染スルトキハ其治スルモ
ノ幾ト希ニシテ到底難治ノ惡病ト言ツヘク實ニ怖ルヘキ儀ニ有之候條
牛馬所持ノ者右有病村々ニ牽入ルヘカラサルハ勿論成ヘク最寄ヲ避ケ
候様注意スヘシ此旨諭達候事

炭疽熱有病地名

北葛飾郡

八 甫 村

西 大 輪 村

干塚村

東大和村

高柳村

南埼玉郡

葛梅村

上内村

鷺宮村

北埼玉郡

間口村

水深村

計三郡 拾ヶ村

○無號 明治十九年七月廿九日

縣下北葛飾郡南埼玉郡及北埼玉郡内ニ於テ現今傳染馬病流行ノ處其症頗ル猛烈ニシテ之ニ感染スルモノ其疾キハ二時間餘ナルモ五時間内外ニ過キスシテ斃レ且追々他郡ニ蔓延スルヤモ豫メ知ルヘカラサル景況ニ付牛馬羊豚等所持ノ者ハ別紙豫防心得ニ據リ避病ノ手當致スヘシ此旨諭達候事

傳染獸病豫防心得

- 一 凡テ獸室ハ能ク掃除シ寢藁ハ勉メテ雜シキヲ用井周圍ニハ石炭酸七倍以上ノ水ヲ加ヘタルモノ 又ハ石灰水等ヲ時々撒注シ臭氣ヲ抑ユヘシ
- 一 近傍ニ於テ傳染病ニ感セシ牛馬等アル井ハ壯健ナル獸類ニ傳染セサル様疾ク他ノ地ニ移スヘシ

一傳染病ニ罹リ斃レタル獸類ヲ埋メタル土地へ壯健ナル牛馬等ヲ牽行クヘカラス近クモ二丁程ハ必ス避クヘシ

○第二款 雜件

○甲第四百號 明治十九年七月一日

本年^三本縣甲第三拾一號布達繭驗拵取締規則中左ノ一條ヲ追加ス

第九條 此規則ニ違背シタルモノハ本縣違警罪ノ刑ヲ科スヘシ
右布達候事

○無號 明治十九年七月十四日

田圃ニ害蟲發生シ植物ヲ害スル旨届出候者往々有之右ハ農事上最モ注

意スヘキ件ニシテ緩慢ニ付スヘカラサルハ論ヲ俟ス若シ一朝之レカ驅除ヲ怠ルトキハ其害特ニ當年ニ止ラス後年ニ大害ヲ及ホシ候義ニ付發生ノ地方ニ於テハ本縣蟲害豫防規則ニ據リ舉村ノ力ヲ以テ驅除スヘシ尤モ羽蟲ハ多ク火ニ投スルノ性質ヲ備ヘ候モノニ付被害地ニ於テハ毎夜篝火等ヲ焚キ悉ク燒殺候様可致此旨諭達候事

○第拾壹章 雜件

○第一款 出版

○乙第百一號 明治十九年七月十四日

郡役所
戶長役場

夕霧丹治戲作

一被惚秘法 小本一册

著者兼
出版人 足立重吉

明治十六年一月廿四日御届

淺草區新旅籠町
十九番地

夕霧丹治著

一被惚秘法 小本一册

原
版人 足立重吉

明治十九年二月廿四日反刻出版御届
明治十九年三月出版

淺草區新旅籠町
十九番地

辭馬縣平民

反刻出
版人 大澤峯吉

府下神田區相生
町七番地寄留

一被惚秘法 小本一册

著者原
出版人 足立重吉

明治十九年五月六日反刻御届
明治十九年六月九日出版

京都府平民

反刻出
版人 上田捨吉

大坂府南區末吉橋
通三丁目十五番地

右ハ本月十日出版發賣差止ラレ候條其旨書籍營業者へ告示スヘシ此旨
相達候事

○第二款 雜件

六二
○告第三拾號 明治十九年七月八日

縣廳郡役所並戸長役場トモ來ル十一日ヨリ九月十日マテ午前八時出頭
正午十二時退出トス

右告示候事

○告第三拾一號 明治十九年七月九日

浦和始審裁判所及熊谷支廳浦和川越熊谷大宮ソ四治安裁判所共來ル十
一日ヨリ九月十日マテ午前第八時出頭正午十二時退出ト定メタル旨通

知アリ

右告示候事

○告第三拾二號 明治十九年七月十四日

明治十九年第二期浦和重罪裁判所本月十三日限リ閉廳候旨同所ヨリ通
知

右告示候事

○告第三拾六號 明治十九年七月廿一日

從五位勳六等 吉田 清 英

任埼玉縣知事

叙奏任官一等

右告示候事

○告第三拾八號 明治十九年七月卅日

治安裁判所判事 安藤博高

右川越治安裁判所詰被命去ル廿五日着任セリ

右告示候事

明治十九年十一月十三日出板届

同 年十二月一日出板

入間高麗郡役所第一課員

山田忠義

富田潤二

阿部副四郎

編輯

出板

埼玉縣入間高麗郡役所第一課

印刷

常斯會社

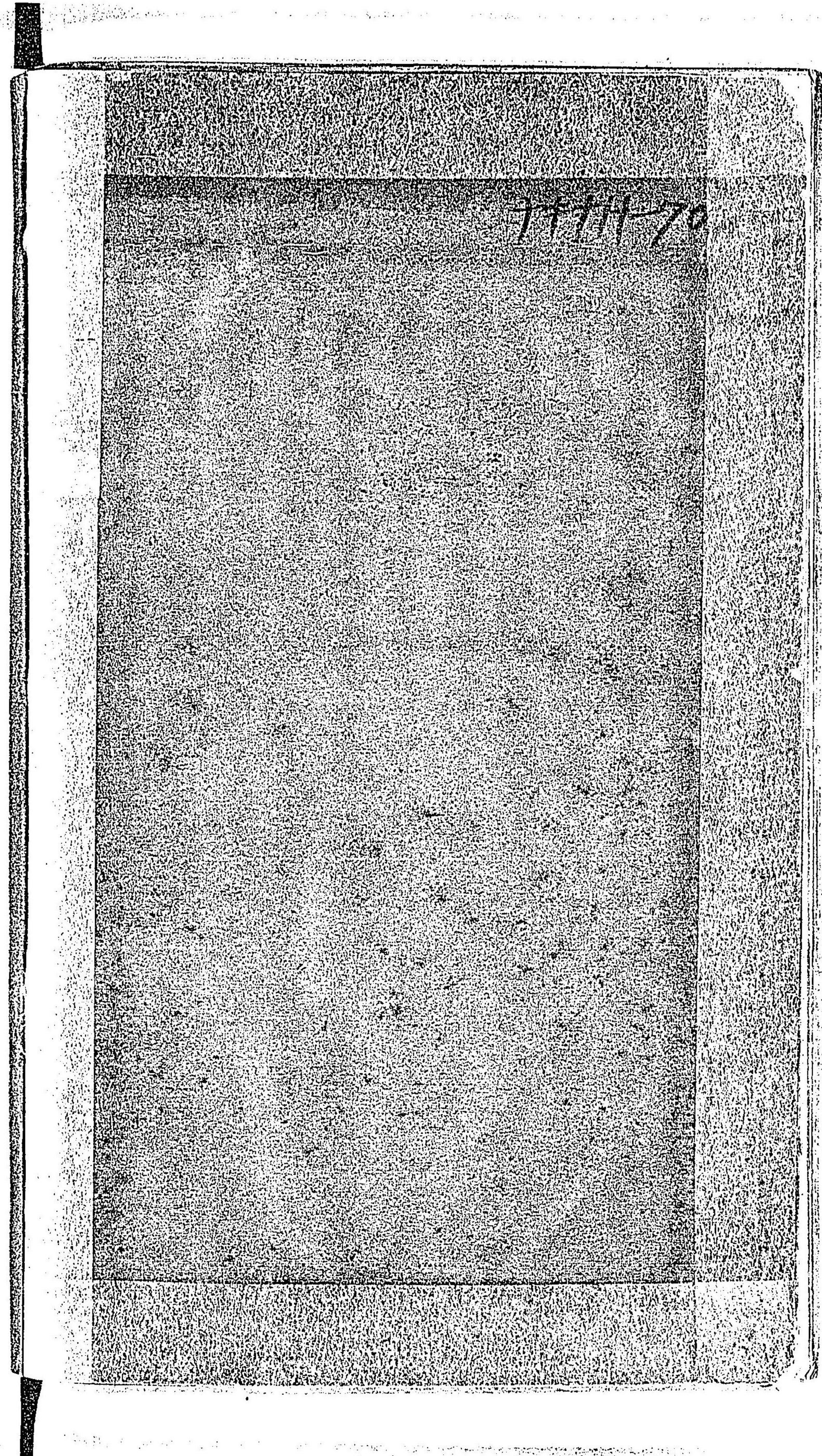
正誤

三十六丁八行

方八防

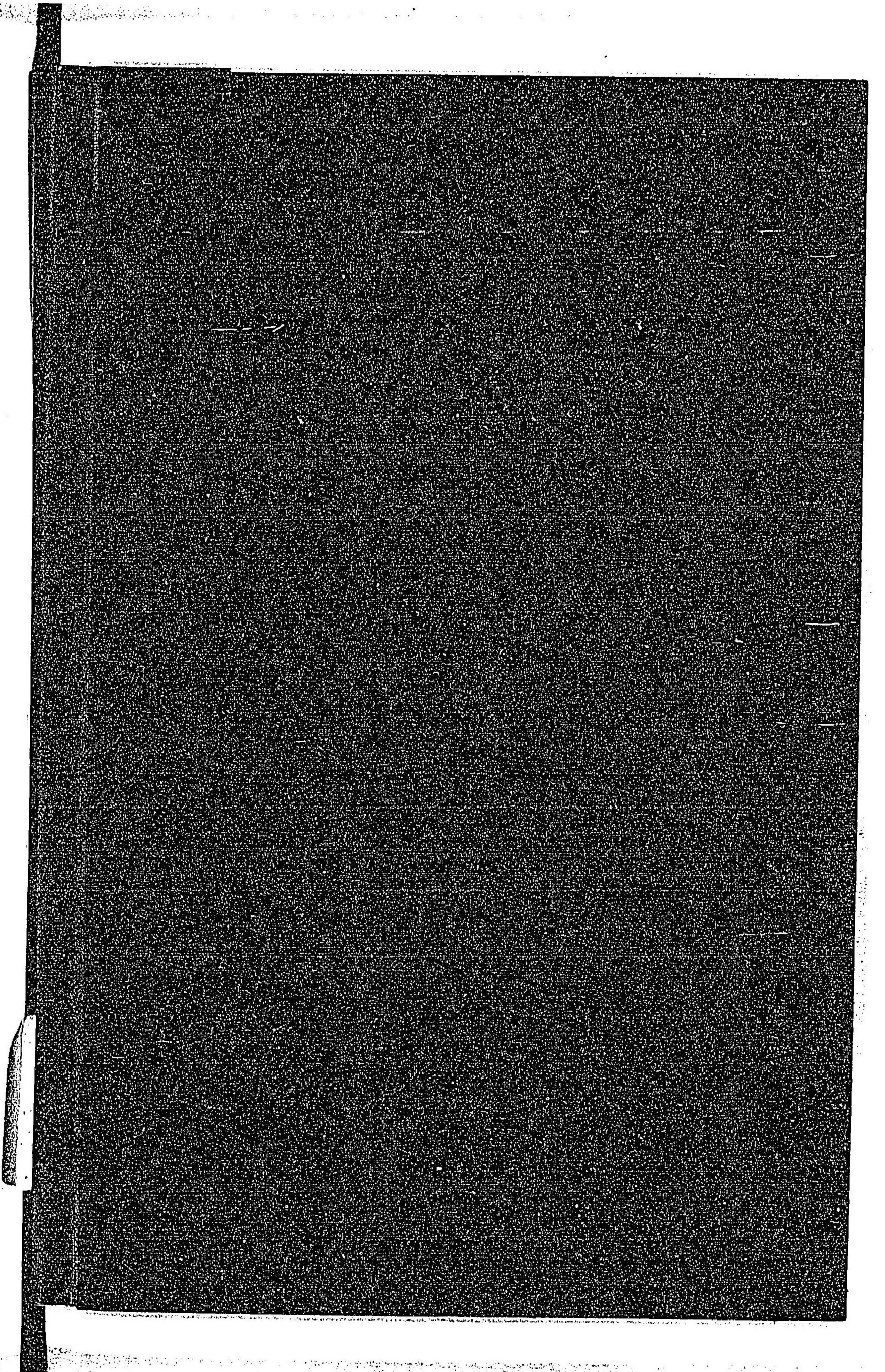
五十七丁八行

雜八新



111170





禁電子式複写

031305-000-7

CZ-1113-34-03

埼玉県達類輯 明治十九年七月中

埼玉県入間高麗郡役所

M19

BBD-0471



